

平成26年度第2回さぬき市歴史民俗資料館協議会 会議要旨（要約）

- 1 日 時 平成27年2月10日（火） 15:00～16:00
- 2 場 所 伝習館2階・会議室
- 3 出席者 [委 員] 熊田正美 渡邊 寛 穴吹眞二 三木清市  
[事務局] 安藤教育長 中野生涯学習課長 山本副主幹 池田主査  
[傍 聴] 0名
- 4 議 題 1. 平成26年度運営状況の報告について  
2. 平成27年度事業計画について  
3. その他
- 5 会議の内容は、次のとおりである。

発言者	意見概要
(事務局)	平成26年度第2回さぬき市歴史民俗資料館協議会を開会します。
(会長)	(会長あいさつ)
(教育長)	(教育長あいさつ)
(事務局)	本日の会議の出席状況は委員4名、事務局4名、計8名です。本日の会議は、公開とさせていただきます。なお、本日の傍聴人はありません。それでは、これより議事に移ります。
(議 長)	議題1について、事務局より説明をお願いします。
(事務局)	(事務局説明)
(事務局)	収蔵スペースの確保には、受け入れ資料が増えているので、展示資料を整理しながらスペースを確保する予定です。
(議 長)	絶対的スペースは変わらないけれども、工夫をして展示スペースを確保していくのですね。次に古文書整理の状況報告をお願いします。
(委 員)	古文書整理作業の状況について報告します。現在、資料館へ寄贈されている鴨居家の資料を整理しています。具体的な整理方法は、読み直してランクづけと同時にパソコンに概要を入力しながら、封筒の外に写真を貼っていく方法です。検索をした際に、一覧表から資料を見た時にすぐ分かるような方法で整理をしています。この資料整理は今年度で終了し、寄贈されている別の資料整理に取り掛かる予定です。二人でやっており、事務局の方で入力作業の協力をいただければありがたいです。
(議 長)	今年度で目録ができるのですね。
(委 員)	寄贈資料の整理については、もし予算があれば文理大学と協力してやっていく方法もあります。鴨居家というのは、天保時代から明治の初めまで、富田小学校を自費で造って明治4年の維新の後に寄付をしている。

(議 長)	また鴨居博士は、香川県の最初の博士号の上に、香川県から東大へ入学した第一号です。鴨居家の他にも大川町だけでなく、資料館の役割的に残すべき古文書がありますか。
(委 員)	各旧家では残っていると思いますので、資料館に預けてもらうためには、受け入れできる体制を整える必要があると思います。
(委 員)	昔の方は大事なものを家に保管しておく。今は、大事なものらしいけれど何の役にもたたないので捨てる人もいる。
(議 長)	例えば、手にあまるということで、有馬家の残っているものは文書館に寄贈して目録も作成している。もし、旧家で残っている資料があれば、教育委員会の方で早めに対処してほしいと考えます。
(委 員)	鴨居家の資料が整理できたので、資料館で来年度展示会をしたらどうですか。ミュージアムには、津田の長町家の古文書がありますが、目録はできていない。ただおいているだけで、見たいときは長町家に声をかけて担当者と一緒に見せてもらいます。
(議 長)	次年度の企画展示の提案もされましたが、この内容は次の議題でお願いして、ここでは今年度の観覧者数について議論いただきたいと思います。今年度の小西和展の観覧者数が多かったのですが、事務局説明をお願いします。
(事務局)	新聞に掲載したり、広報誌で周知する等、取り組みました。
(議 長)	昨年度の企画展と比べると今年度の方が、来館者数が多い理由は何ですか。
(事務局)	当初8月の1ヵ月間の予定でしたが、好評のため9月末まで延長しました。そして、年末まで関係資料を展示することができたので、興味のある方が多く来られたからだと思います。
(委 員)	会期中に来館したのですが、30分くらいの間に十数名来たにもかかわらず、署名をしていない人が多くいました。ここで記録されている以上に来館者がいるのではないかと思います。
(議 長)	記録されていない方がいるのではないかということですが、平成26年度の伝承館の観覧者数とカウントの違いがあるのではないですか。
(事務局)	資料館の事務所にしか人がいないので、入館料がいる資料館では確認できますが、伝承館は見落とすこともあると思います。
(議 長)	団体の来館者について、学校関係者として何かご意見はありませんか。
(委 員)	主要来館団体一覧表を見ますと、もう少し市内の小学校の来館を増やすために、職員に対して資料館の存在をPRしてはどうですか。
(委 員)	資料館をもっと有効に活用してもらうための一つの方法として、3年生は昔のくらしの学習で資料館に展示している民具資料を活用し、6年生は歴史学習の古代時代を学ぶ際に展示している出土品を実際に見学をし、出前講座等が行えるのではないです

	か。
(議 長)	議題2について、事務局より説明をお願いします。
(事務局)	(事務局説明)
(委 員)	展示施設の将来に向けた方向性は、どのようになっていますか。
(事務局)	現在のところ、施設白書で今後の方向性をつとめているところです。
(委 員)	そのためにも収蔵品の量を具体的に把握しておく必要があります。県内最古級の唐箕を資料館の顔としてPR展示する等、資料的価値の高い資料をさらに整理し、資料館の顔として展示する準備が必要だと考えます。
(委 員)	古墳学習の出前講座については、専門家の方に講師としてお願いすれば実現できると思います。
(議 長)	歴史学習では、先人の知恵を探ることが大切で、各時代の特徴的な事柄が資料館を通じて学ぶことができるような企画をしてください。
(議 長)	議題3について、何かありませんか。
(事務局)	特にありません。
(議 長)	第2回協議会を終了します。

